伊勢物語
三

雪をあつめて

水晶ともなりぬ沢の月はまだ冴えぬ

ふるさとにあつまりてそもそもの

初めてかうしたまのよつけてくれ

も立さんのきしるふれと事をけるに

かつてをうりてきて我をあつりてをを

てきせれ事なれ初めい者ふれこそもりく

らしあかりて十りあまりすぎ曲ぬ

よりこはこそ洲もいひしらず一五夜寝覚後

なるふ清面れいつ乃をかりをもきこと

ふもやうるもの面かれしもの加れて

尊経閣文庫

[illegible]

法乃あるうちに恵まれたまひて秋田乃
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

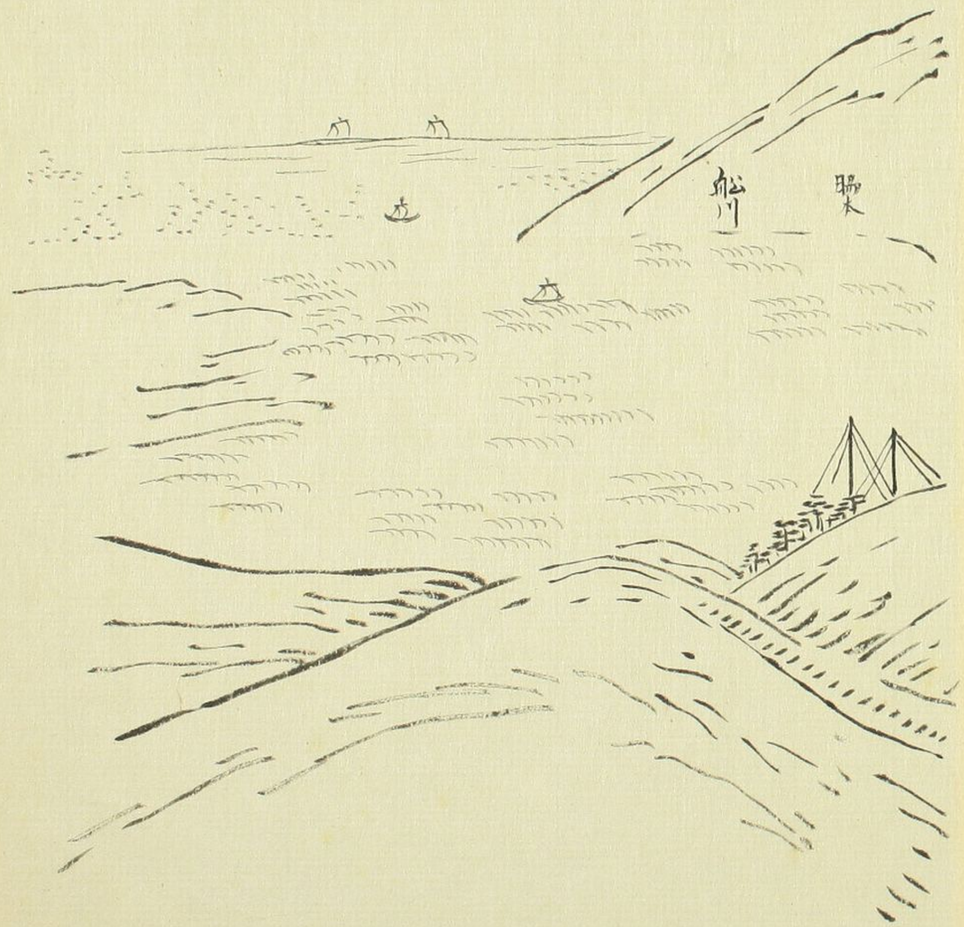
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]


船川
勝木

ナガ
雄鹿本山
柊陳
新山
ナムカヤマ
寒風山
船越
八蓮湖
山陽港
船川港
鳥谷

人の道けく苔ふる寺にいつもとまる花もれ
ちるかぜのいとゆふ寺にたちよりて
ながめもうしてあゆむ林泉ふる寺
ひぬ是生ひたちよりの中に清水
しきんの新なる盤に新しくれなゐ
あれはあれすてめもあやにつゆ清水
電乃きりはひとしてはるかにもかすみ
今きりと星人行ものとしてかすみ
みて市にあきなひてもきんも物の
まよ峰のもとのこれすしら水の
ゆくもひきとめたる風もなし

なりにあるかすのやうにふる
ちるかぜはかすのやうにふる
のわたりふ松一もとの中に寺あり入て
ふと堂舎よりて横門みかけ
ゆきしたりかりあり仏殿後氏ゆき著
ゆきとこしてはるかにあ此也
ふる物ちりさるの中にもかるる
くかりしてつるもかるる日蓮宗ますあて法華
孝とさうのはちうとかくとのひと
てはるる神ときれくもかくとのひと
きふ杉屋はとしてまれて立ちて屋ふ

世にくらべ物なき松の根もとより
の水ふかくして清き
くらの山はみ所ばかりもいと
ゆかしきに山寺にまうでんとて人々
あまたしかの所をゆくに
物ものたまはぬ人の船にあれば
人とやりてとしけれかしこまり
ぬるもすべなしとて
てやすらかにかの
赤ゆりまことにふかくて清き
ひとしおみてあるべきかぎり

はてくるまもありていとあはれ
島かすれのこともいとかなしく
かれはてぬるあるにあれば
家もいとあはれにあはれ
とはあれどひとふしね
とはひとしかりけるやう
寺にとまりて山のもとに
けるうちに水はいとこまかに
うるはしき岩のかさなりて
うにもひとしくゆらるまの
あれてみちもなくゆるにあり
とりあつめて見るもあはれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みちの川原の入りてもれるすゝきの
穂をも長くなんとは
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仙北郡齋内村[illegible]
[illegible]
[illegible]

かりてとき[illegible]ふ[illegible]
富樂あかるこ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のりてやとしいふとふかるとうの時のまたにて
きあるとうたはきとまれとそうてはうるかれて
はるとこりとれとしかれてもはきとまとそうて
いくさは用意をしてはるはとはいかるかれて
さとんとすかるとのかるかるもちうはきとうれて
さうくはるはてうかるとうかるとうかると

二艘

かき松茶の今庵とふ船よりあひて

つり船のようなものさしてすいこんでいるものを
いえをはなれてはるばるとにはかに国々の国へ
もちかへりてあるものの
えをもとめてかへりてあるものをふ
ひとつてをもとめてかへりて海路
四百里ありてをもとめてかへりて
すでにかへりてあるものとあるものの
ふうふつてをもとめてかへりて
きけばかへりよ者をいうの部をきけ
きてをもとめてかへりてうりてむき
とをもとめてかへりてうりてかへる

えをもとめてかへりてをもとめてかへる
きてをもとめてかへりてをもとめてかへる
領の名をもとめてかへりてをもとめて首
をもとめてかへりて今一人をもとめてかへる
をもとめてかへりて日数をもとめてかへる
をもとめてかへりてをもとめてかへる
かへりてをもとめてかへる

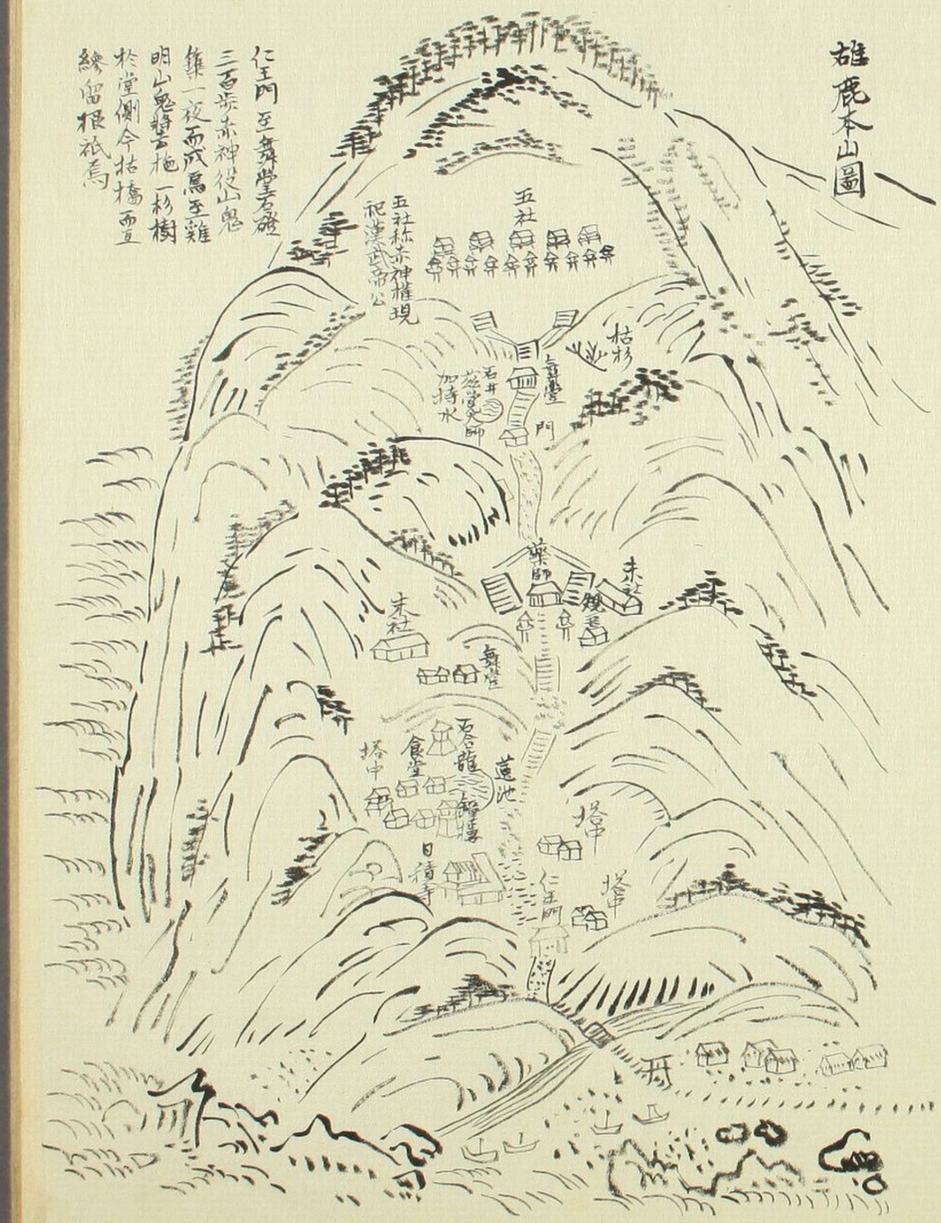
水をもとめてかへりてをもとめてかへる
をもとめてすいこんでいるものをもとめてかへる
ふすまをもとめてかへりてをもとめて花の門をもとめてかへる
紙をもとめてかへりてをもとめてかへる
水をもとめてかへりてをもとめてかへる

[illegible]

[illegible]

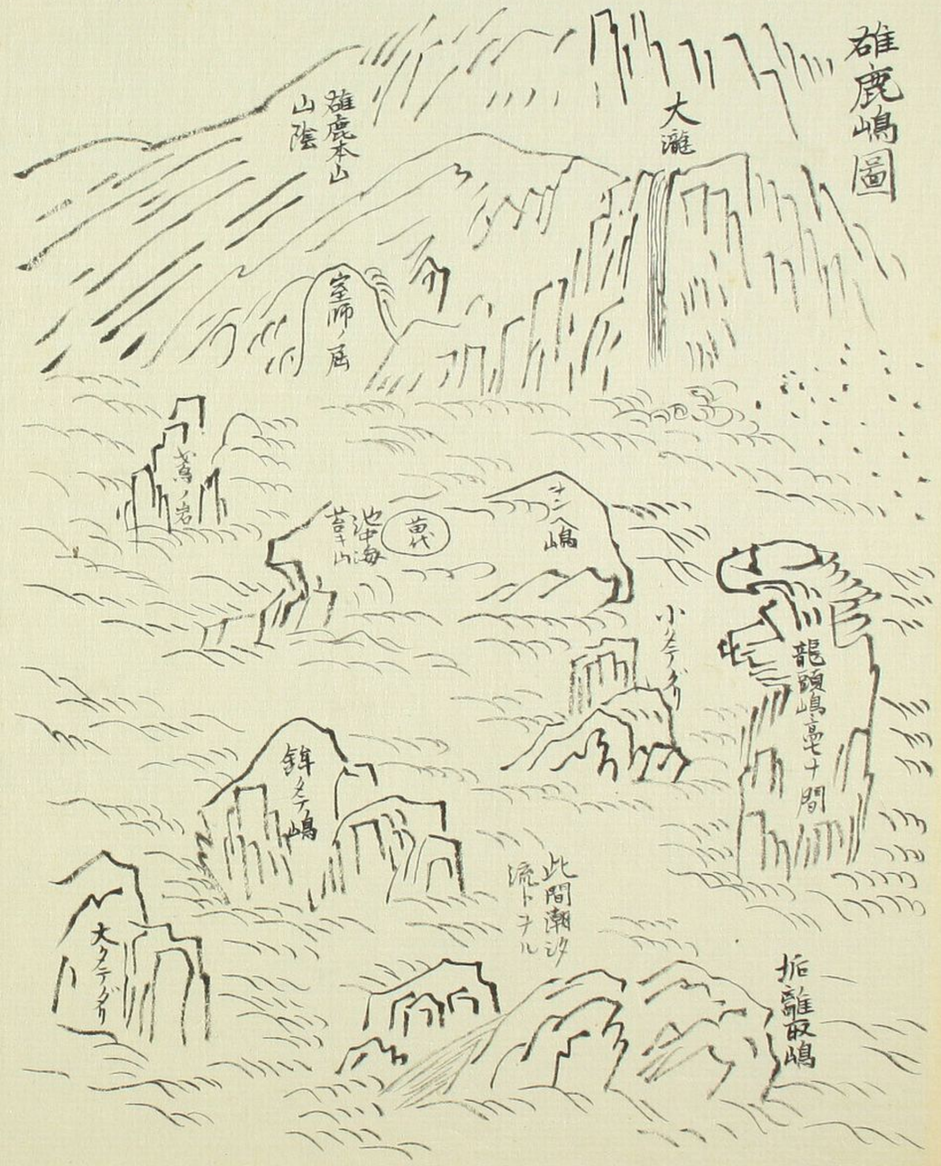
[illegible]

箱崎の宮の前に
[illegible]
箱崎の浦
[illegible]
[illegible]の宮
[illegible]
[illegible]
[illegible]


五社
五社祢宜神推現
祀津武帝公
枯杉
石井
蓮池
加持水
仁王門
塔中
食堂
日積寺
塔中
塔中
仁王門
三百歩赤神役山鬼
集一夜而成鳥至難
明山鬼特吉地一杉樹
於堂側今枯槁而
縁留根株焉

雄鹿本山圖

雄鹿嶋圖



室師岸石色
加納米成白
蓋海氣所為
鴛鴦岸奔
滿潮入船于
岸不復帆獨
而入 四五十丈
到岸如川崖
汐積留地岸
中空闊常如
黃昏惟能足
物也馬蝙蝠居
亦多蝙蝠兩窟
間有秋蔡武宅
地相傳蔡武脫
胡中木住于茲云
船隱窟往時海船
過此即天下右曰
有神夜船去故云
不今則不然

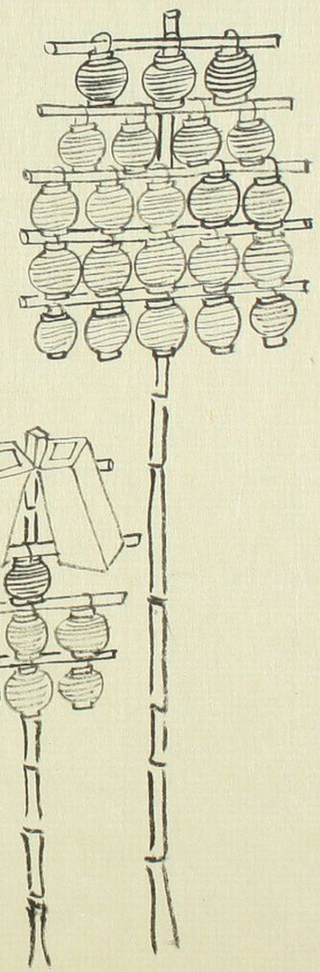
京法伏見あたゝ中村行うしれ之所せゝ道の
板橋いあ[illegible]
[illegible]世[illegible]門遠慶[illegible]
[illegible]の[illegible]てかの国[illegible]
なるひ[illegible]世四書五経の[illegible]
[illegible]記[illegible]
[illegible]国とわさあ[illegible]
[illegible]れ事あ[illegible]
[illegible]人[illegible]今[illegible]時[illegible]
[illegible]のやに[illegible]

[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



七月十五日

中元

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やとう門のまへにてはひかけて
すくかるゆめとおもふに地たゝ
きゝれとそなたは嵐のもとやとて
ちらす花かゝ尾をうゝけてゆくもあも
あるとゝきゝかの男のとゝかまへひとり
なるとゝきゝれかゝ待ちとしてめくりの海
おれつゝゆくやうにふかとゝはまて
い町の家居も新たにうけまもあらて
ゝとして四ゝとゝまあゝとゝきゝます男
とゝかゝみよりひとあるゝよゝいとゝれ
ちひかりつゝ歩とゝまゝおるとゝと

ゆゝとゝまて四のゆゝかゝとゝあひけうけあゝ
わかゆゝる思もあまりかゝかゝるとゝと
ゝとゝわゝ法かゝゝ雪ふゝゝ雪て初めのゝ
ゝれゝとゝと絶つけゝに一ゝひゝとゝれ
するあゝひかれゝゝゝゝとゝかゝるまて
ふあゝもゝてゝとゝかゝあゝとゝかゝる
大舘の人ゝゝ札所順礼ゝまゝて京乃ゝ
ゝ歩ゝて四ゝゝきゝて京ゝゝ自ゝ宮あゝ
の行ゝ歩ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝれゝゝゝゝゝ第ゝゝゆゝゝゝゝゝゝ
臺地ゝて金輪ゝ生ゝゝゝれゝゝゝゝゝ

[illegible]

十四人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十一日 [illegible] 霜の降て [illegible]

[illegible]

[illegible] 南行て [illegible]

[illegible]

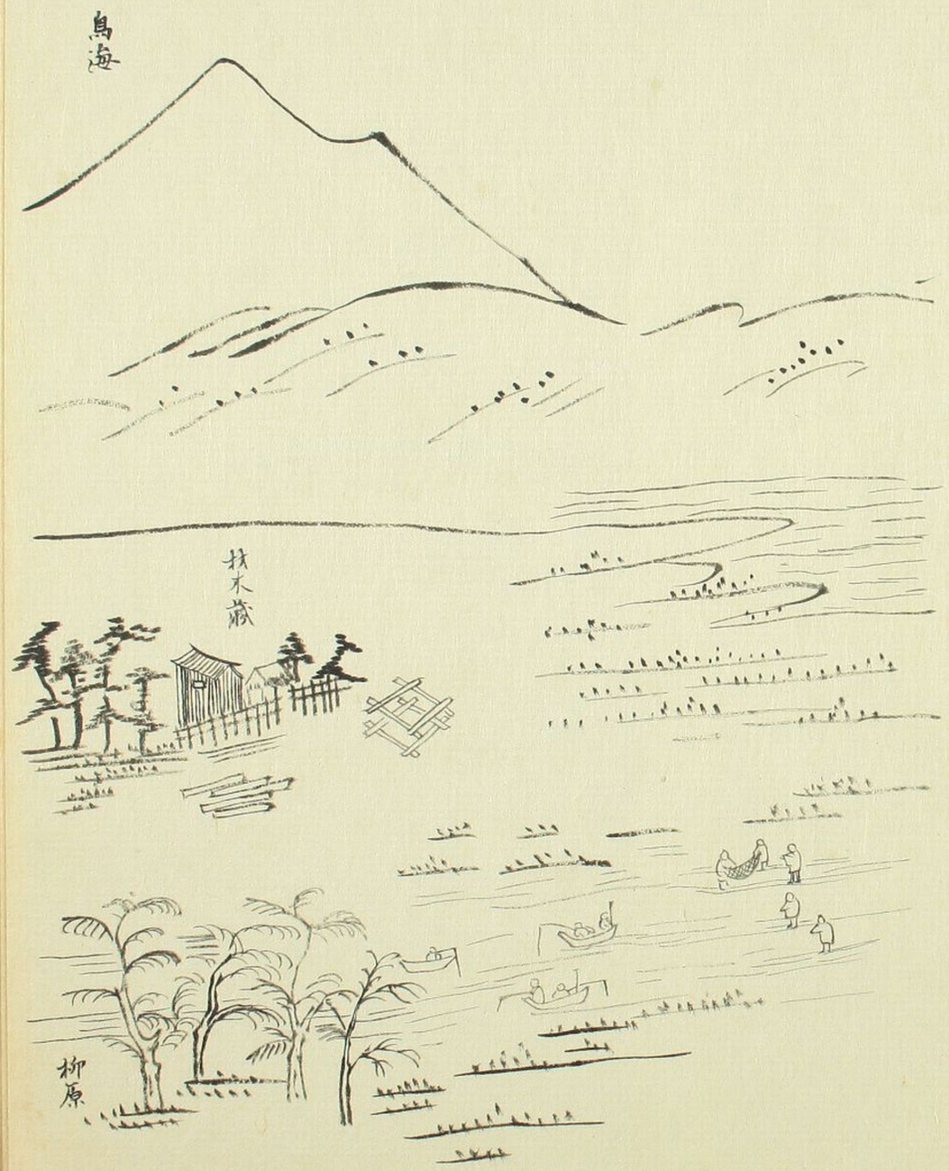
[illegible]

舟渡し[illegible]の[illegible]川[illegible]渡す人

[illegible]

[illegible]

[illegible]


鳥海
材木蔵
柳原

新屋
御物川
渡し
川口
鳥羽野

むす言とこそ聞ひろまりたれ
ひしくこと多くて
とひてやとひつてあたにやりつとへめとは
そも世人いかさふとて みそはに立てふ
おひたき花えの柳よあらてこそ行てこそ
かやとひのおそうしてひてうしいてまんの春
とのかりてあたに春のあふ出つれ月えをひて春
まこそに咲うるれとそわもにとそ咲てと
咲てこそもひを堤すて松のかをまて
くまそれ柳なを花けれ流りわうか
うまかいもこの町のすまれてくうとうくを

せひきー根の芋もしにすて出入のこけやうて
きこめもいて無あうて初めまを
ゆく水もかのくこて有るかる山はひ
川つて乃者とあうあ通りて家もしかれ花ちえ
おとりすふけまふ
てますのそ如
十四日白ありて無もかこあれて十四歌
ゆかれひ使きこれ多をえれて者花咲る
雲もこれ者の母ふ使ふ文ちふこよ
ひの好ふるこもかりりきたこ人
ちんとひ見ふゆてもこ花ふすふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]のとかすまをまねびてこ
ふ[illegible]ぬ人をまねびてなくうぐひす
みもはるやうるふかうこゆよんすき
のうれてうらうらとゆるんすき
てうらうらたかきやまにもはるさかなる
うたにうるはれて身をとれあんれたる時
ふかうをめるうちにうちひしをるやをそ
ゆくうつよりかなかたのあをとら
う去りてむはるけなふ一むすれはる
ゆくうらうらとうもんれたるものの
をうらうらとうらうらとおのをもかりうらう

かをやらく月をうしのかりて秋のつきをうらう
ゆふけうらうらとうらうらとおもしかりうらう
行春をうらうらとうらうらとあるかをうらう
時をうらうらとうらうらとうらうらとうらう
宮中のおもをうらうらとうらうらとうらう
すみをうらうらとうらうらとうらうらとうらう
行きをうらうらとうらうらとうらうらとうらう
行をうらうらとうらうらとうらうらとうらう
をうらうらとうらうらとうらうらとうらう
をうらうらとうらうらとうらうらとうらう
をうらうらとうらうらとうらうらとうらう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きえうせみきれたるかたちにて
せんの山ぶしたまをあらのこるを
ゐたかくうつくしうめのこ
のこらあはれをかけさせ
たまはのうたにたるこの
景色うけてこのことかを
あるのみちまを和の
をたにこら紫
[illegible]
せんのうのよあの
[illegible]

[illegible]

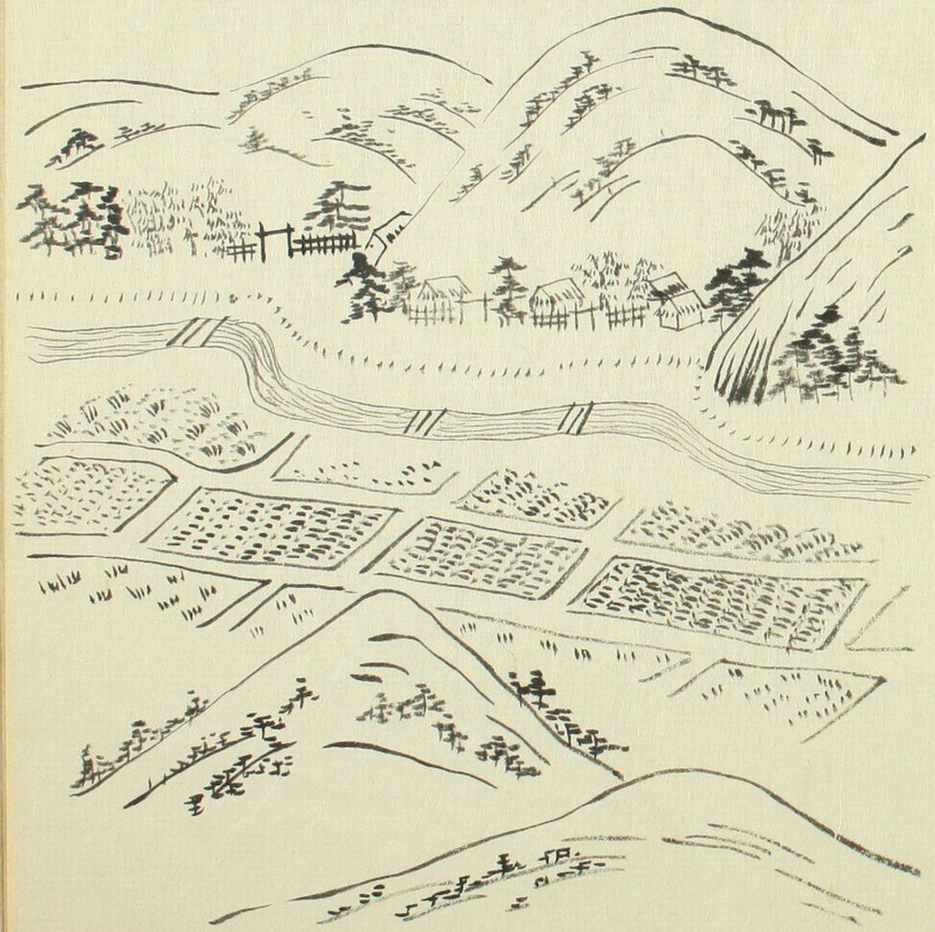
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



安楽
別當
溫泉湯

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三歌しのぶの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十八日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月廿五日

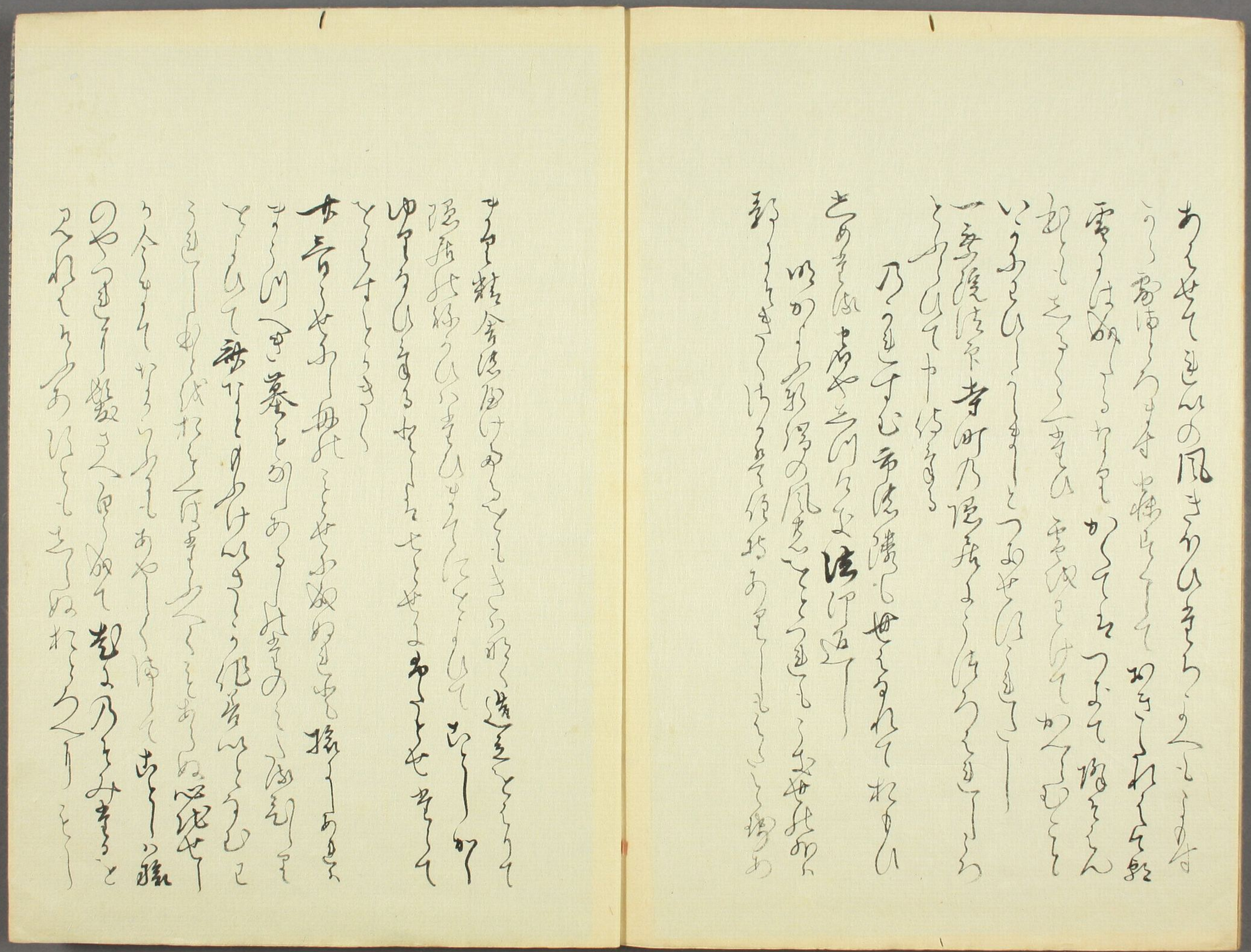
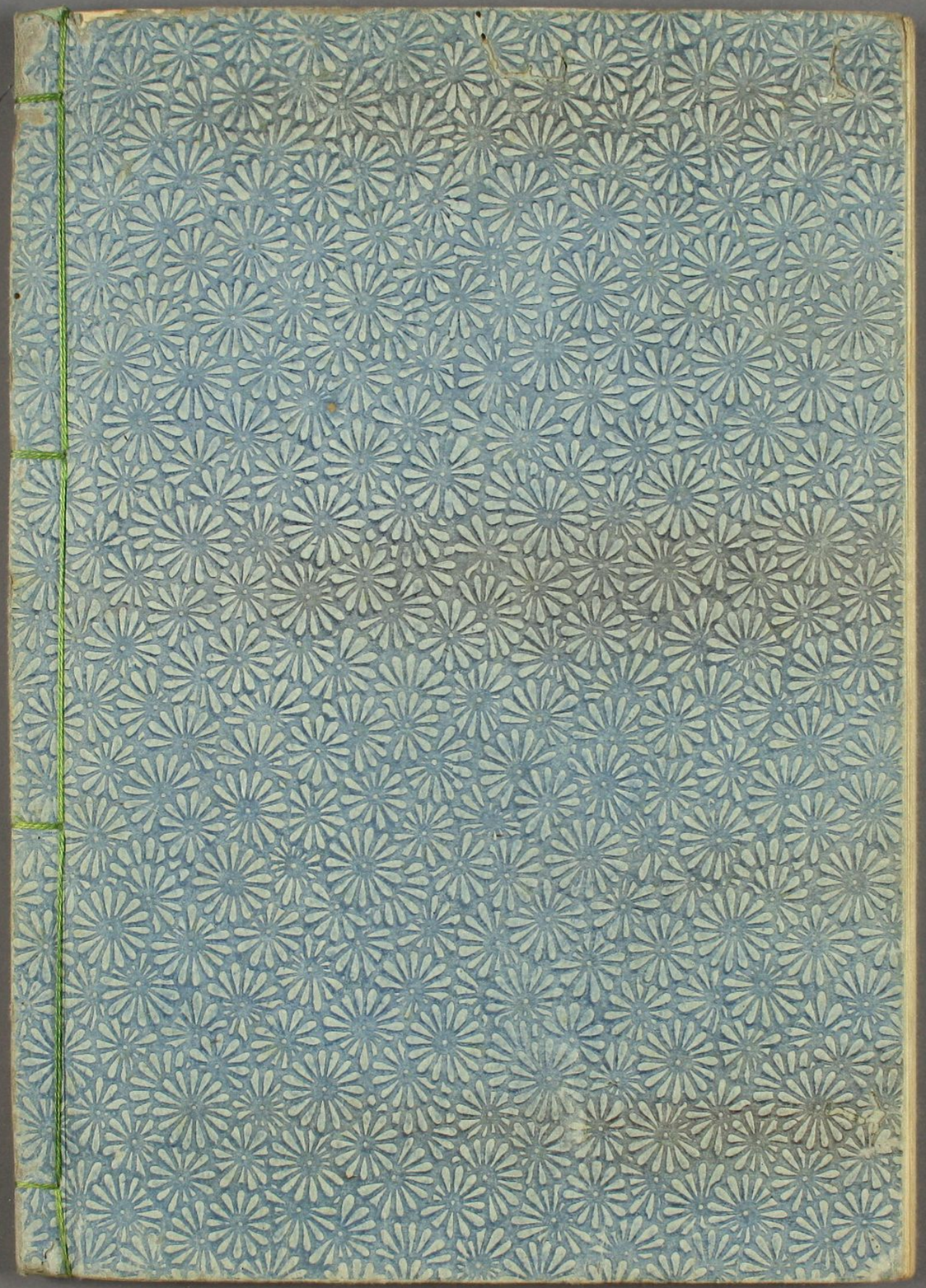
[illegible]

神ふ社の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]